

1 コロナ禍における学びの継続

学校教育課





学校におけるDX

- 校務支援ソフト
 - 教員の事務負担軽減
 - 名簿・出欠・成績処理・通知表・指導要録・保健管理・体力テスト・週案簿・時数管理等
- 学校給食公会計化
 - 小中学校等の給食費を公会計化



一人一台端末の活用状況

- 合同オンライン授業
 - 小規模校同士をオンラインでつなぎ、多様な意見の交流を図る取組
- オンライン社会科見学
 - コロナ禍で、校外学習等が制限される中、オンラインによって、工場や漁港等の見学を実施
- 総合的な学習の時間
 - オンラインによる総合的な学習の時間を通して、小学校と高等学校等、校種を超えたつながりの中で、探究的な学習を実践



高梁市で導入した授業支援アプリ

- ミライシード
 - オールインワン(一つのアカウントでOK)
 - 基礎学力向上(ドリルソフト)
 - アクティブラーニングの実現
 - 履歴管理ツール
 - 事例共有ツール

ICT支援員によるサポート

■ トラブル対応や好事例の共有

高梁GIGAスクール通信 vol.14 2022.1.7発行

高梁GIGAスクール通信

発行：高梁市教育委員会GIGAスクールサポーター

こんにちは、GIGAスクールサポーターの横山弘毅です。
各学校でのICT活用の様子を紹介する「高梁GIGAスクール通信」第14号をお届けします。

1. 有漢地区の3校で英語のオンライン交流授業を実施

11月30日に、有漢東小学校、有漢西小学校、有漢中学校3校をオンライン（Google Meet）でつなぎ、リモートで英語の授業を行いました。



授業では「UkanDonald's」と題して、有漢中学校の生徒がハンバーガーショップの店員、有漢東小・有漢西小の児童がお客と役割分担して、英語を用いての接客コミュニケーションを行いました。



休校に向けた備え

- 9/13 研修会

- 「休校時のオンライン授業のやり方と学級運営についてのポイント」

■ 臨時休校の際のリモート授業

- オンラインによる朝の会を実施し、健康観察等を行った
- 一方のクラスが臨時休業を実施した際に、もう一方のクラスの対面授業を配信し、休業中も学びを継続することができた
- クラスの中に同居家族の発熱等のために欠席している子どもがいた場合、対面とリモートを併用したハイブリッド授業を行った



高梁市の取組（他自治体との比較）

■ 端末持ち帰りについて

- 10月末の県調査において、管内全学校で平常時の持ち帰りを実施していたのは高梁市、笠岡市、矢掛町、奈義町のみ
- 1月21日現在の県調査において、「新型コロナウイルス感染症による臨時休業を想定して準備を進めている」項目の結果

「実施済み」小学校...県全体の19.4%

中学校... // 31.0%

- 「年度内予定なし」...小4.2% 中4.3%



学級編制弾力化の効果

- 小学校（R3より30人以下学級）
 - 高梁小学校6年
 - 成羽小学校3年
 - R4については、高梁小4年、落合小1年、成羽小4年
- 中学校（R4より35人以下学級を検討）
 - 高梁中学校 2クラス→3クラス
クラス人数40人→26・27人